

明田フォトプロジェクトについて

戦後復興期の広島を中心に中国地方など各地を撮り続けた写真家 明田弘司（1922～2015）の遺した 47,000 枚を超える貴重な写真資料を、広く活用し、後世に伝えていくことを目的としています。

作品の管理・貸出に加え、使用目的に合わせた写真の選定、キャプション提案など、企画への参加・協力もしています。

メンバーは、著作権継承者代表(遺族)と、被爆 50 年史を編さんした広島市 O B、事務局の 3 名で、現在は新たな写真集出版に向け、毎週木曜日に活動中。

先日、明田さん宅で新たにフィルムが見つかり、並行して分析・整理をすることが直近の課題です。



明田さん 36 歳のころ／昭和 33（1958）年



電電公社(現 NTT)機械塔より北望。基町木造住宅群と広島城を望む／撮影年未詳



大田川上流付近 戦下しりしで遊ぶ子供たち(1959年)

広島市の復興期を撮り続けた写真家

明田弘司と、基町

令和 4 年 4 月 1 日(金) - 4 月 17 日(日)

時間 | 12:00-17:00、入場無料 ※月・火は休場
会場 | 基町プロジェクト活動拠点 Unité(ユニテ)
広島市中区基町16-17-108(中央公園南側 目の前)
主催: 基町プロジェクト (広島市立大学、広島市中区役所)
協力: 明田フォトプロジェクト



広島市立大学と中区役所が連携し、地元住民とともに基町地区の活性化に取り組む「基町プロジェクト」にて、写真展『明田弘司と、基町』を開催していただきました。学生さんや当時を知る地域住民の方々が集まって展示作品を選定したワークショップや、キャプション等の制作にも参加・協力しました。新聞やテレビにも取り上げられ、とても多くの方にご来場いただき、反響も多数寄せられました。



会場写真: 基町プロジェクト提供



平和大橋／昭和 29(1954)年

NHK 広島 10/7 放送「コネクト connect・三宅一生とヒロシマ」にて上記作品を、また、広島ホームテレビ 9/11 放送「ドキュメント広島・ズッコケ三人組と反戦の記憶」にて、お好み焼き店の写真 3 点を使用していただきました。テレビでは数秒間映るだけでも関わらず、写真に少なからぬ反響があったと、うれしいご報告もいただきました。

呉市制 120 周年と開館 40 周年の節目にあたり、郷土ゆかりの作家の作品を集め、呉の近現代美術史を振り返る企画展に、「鹿老渡 島の花嫁さん」(チラシ中段右)、「音戸大橋開通」など、明田さんが故郷・呉を撮った作品が 10 点も展示されています。

現在、開催中です!!

呉市制 120 周年
開館 40 周年記念

呉の美術

— 激動の時代を越えて —

呉市立美術館
RITSUMEIKAN MUSEUM OF ART

2022 11.26(土) - 2023 1.29(日)

2022 11.26(土) - 2023 1.29(日)